

平成28年度 室戸市立室戸中学校 学校評価(最終評価書)

学校教育目標 「 学びあい 支えあい 高まりあう 室戸中学校 」

平成29年3月

項目	中・長期経営目標	短期経営目標	主な取組内容	取組内容の評価指標	自己評価		学校関係者評価		
					達成状況	評価	改善方針	評価書	
確かな学力	<p>○向上心を持って学習に取り組むことができる生徒の育成</p> <p>※全国学力調査、高知県学力定着状況調査、標準学力検査の平均+5ポイント</p>	<p>・学力向上にチーム学校として取り組む組織の構築</p> <p>・「分かる」授業づくりを通して、基礎・基本の確実な定着や学習意欲の向上、望ましい学習習慣の確立を図る。</p> <p>・補充的学習や予習・復習の課題提示、自主学習の奨励により、家庭学習の習慣化など望ましい学習環境の整備を行う。</p>	<p>・研究推進委員会の企画・運営</p> <p>・部会の機能的な運営</p> <p>・指定事業と関連した公開授業の実施</p> <p>・研究主題に沿った講師招聘研修の企画・実施</p>	<p>①学校評価アンケート(保護者)肯定群</p> <p>ア学校生活の満足度…85%</p> <p>(H27年度80.9%)</p> <p>イ授業の理解度…80%(H27年度72%)</p> <p>②研究職員の実施(月1回)</p> <p>③講師招聘研修の実施(各部会1回)</p>	<p>①学校評価アンケート(保護者)肯定群</p> <p>ア学校生活の満足度…90%</p> <p>イ授業の理解度…80%</p> <p>②研究職員の実施…毎月1回の実施はできなかったが、その都度研究協議を行った。</p> <p>③講師招聘研修の実施…7月4日「組織で取り組む効果のある『学校づくり』久我直人先生、8月19日「児童虐待の背景について」伊藤健生先生</p>	<p>保護者による学校評価アンケートでは、ア、イ共に目標を達成することができた。公開授業を核とした、授業研究と授業改善を継続して取り組んでいく。また、研究職員を位置づけて月1回の実施をしていく。各部会からの課題解決に向かう、講師招聘計画を年度当初に行う。</p>	<p>保護者による学校評価アンケートの満足度もほぼ満足している状態にある。更に上を目指してほしい。</p> <p>研究主任を中心に、学力向上のための組織的な校内研修体制での取り組みができており、徐々に成果を上げてきている。</p> <p>学校生活、授業の理解度、共に高く評価できる。</p> <p>教科会の実施など、指定校としての役割があり大変ですが、子どもの様子を見た保護者から、8~9割の肯定的評価が得られているのは素晴らしい。</p>		
				<p>①毎時間のねらい提示100%</p> <p>②授業アンケート(自分の考えを発表する機会90%以上、話し合う活動を行う90%以上)</p>	<p>①毎時間のねらい提示91.7%</p> <p>②授業アンケート(自分の考えを発表する機会98.4%、話し合う活動を行う95.1%)</p> <p>室戸中授業スタンダードを実践し、各授業ではほぼ授業の目標やねらいの提示ができていた。授業公開により互いの授業から学ぶ雰囲気が出てきた。また、授業の三か条の取組では、チャイム席、忘れ物点検を生徒会でも取組んでおり意識が向上している。「壁にこころを重視して授業実践を進めたい」</p>			<p>授業スタンダードの実践を継続して取組んでいく。授業アンケートから「考えを発表する機会」と「話し合う活動」は目標を達成することができた。さらに、生徒主体の授業になるような教材や発問の精選、相手に分かるように話したり、聴いたりできる活動を行っている。</p>	<p>授業の三か条の取組は、生徒会が自主的に取り組む様子は学校生活も充実している。</p> <p>授業スタンダードを意識した授業展開が根付いてきている。学び合い、深い学びという面では更に研究が求められる。</p> <p>授業スタンダード、問題解決型授業は、一人ひとりの理解力を高めていくことで継続して欲しい。</p> <p>どの教科においても授業スタンダードが定着するように、更なる取組を期待する。</p>
				<p>①家庭学習1時間以上の割合は58.8%</p> <p>②学習シートの活用率100%</p> <p>③家庭学習の手引きを夏休みに作成し、2学期から活用を進めた。</p>	<p>①家庭学習1時間以上の割合は58.8%</p> <p>②学習シートの活用率100%</p> <p>③家庭学習の手引きを夏休みに作成し、2学期から活用を進めた。</p>				
<p>①道徳参観日への保護者出席率50%</p> <p>②学級通信による道徳の話題提供、各学級学期に1回以上</p>	<p>①道徳参観日については平日開催を避け、学年PTA行事と重ねるなどして少しでも保護者の参観率を高める設定をしたが、目標値の達成はできなかった。②学級通信による道徳の話題提供については、3年生の学年通信などに話題が掲載され、昨年より進歩が見られた。</p>	<p>道徳参観日の出席については達成可能な目標値の見直し、少しでも増やす呼びかけを行っている。通信の話題提供の機会を増やすために、学級通信の発行回数を増やすことも来年度に改善できる部分である。</p>	<p>道徳参観日の時だけでなく、普段の道徳の授業についての情報も学級通信等で発信することを目指す。</p> <p>参観日の出席は少ないが、取り組みの方向は間違っていない。これからは続けていくことが大事。</p> <p>道徳参観日の時だけでなく、普段の道徳の授業についての情報も学級通信等で発信することを目指す。</p>						
<p>①朝読書アンケートでの肯定群</p> <p>ア落ち着いて取り組めた…92.1%</p> <p>イ本を読むことが好き…78.8%</p> <p>②図書便りの発行…毎月1回の発行はできていない。2回発行</p> <p>③図書資料を活用した授業…1年生:「故事成語」、2年生「開いた心を伝えよう」(調理中の器具の安全)以上</p>	<p>①朝読書アンケートでの肯定群</p> <p>ア落ち着いて取り組めた…92.1%</p> <p>イ本を読むことが好き…78.8%</p> <p>②図書便りの発行…毎月1回の発行はできていない。2回発行</p> <p>③図書資料を活用した授業…1年生:「故事成語」、2年生「開いた心を伝えよう」(調理中の器具の安全)以上</p>			<p>引き続き、個人面談やボイスシャワーの実施と、エの項目の低下については、学級集団づくりの機会が昨年と比べて減ってきたと思うので、集団づくりの内容工夫や時間確保の計画づくりを行う。</p>	<p>朝読書アンケートでの肯定群</p> <p>ア落ち着いて取り組めた…92.1%</p> <p>イ本を読むことが好き…78.8%</p> <p>②図書便りの発行…毎月1回の発行はできていない。2回発行</p> <p>③図書資料を活用した授業…1年生:「故事成語」、2年生「開いた心を伝えよう」(調理中の器具の安全)以上</p>				
<p>①特支不登校部会を月2回実施</p> <p>②支援シートをもとに、保護者と共通認識を持つ場の設定(学期に1回)</p> <p>③三機能の視点を生かした授業実践90%以上</p>	<p>①特支不登校部会を月2回実施</p> <p>②支援シートをもとに、保護者と共通認識を持つ場の設定(学期に1回)</p> <p>③三機能の視点を生かした授業実践90%以上</p>					<p>ブックワークや教員の読書体験を語ることを通じて、「本を読むことが好き」といえる生徒を増やしていきたい。図書資料を活用した授業づくりは市民図書館と連携しながら、さらに進めていく。</p>	<p>本を読むことが好きとの評価が上なのはとても良い。最近では本を開かない子たちが増えているので、この取組は良い。</p> <p>校外授業として、図書館で授業を行ってみてはどうか。</p> <p>図書活動の充実はもちろん大切であるが、各教室の読書環境の整備に力を入れることが効果的ではないか。</p> <p>朝読は、心身共に勉強前にとても良いと思う。図書便りを定期的に出す。</p>		
<p>①特支不登校部会を月2回実施</p> <p>②支援シートをもとに、保護者と共通認識を持つ場の設定(学期に1回)</p> <p>③三機能の視点を生かした授業実践90%以上</p>	<p>①特支不登校部会を月2回実施</p> <p>②支援シートをもとに、保護者と共通認識を持つ場の設定(学期に1回)</p> <p>③三機能の視点を生かした授業実践90%以上</p>	<p>特支不登校部会の定期開催を年間計画に位置づける。個別の支援シートを職員会議資料として必須の物とし、保護者に説明面談を行う場を設定する必要がある。三機能の定着を検証できる授業評価の工夫を図る。</p>	<p>保護者や外部とも良く連携できている。</p> <p>部会は定期的に行われ、情報共有、取組の確認がなされている。発達障害の生徒が増加する中、特別教育の視点に立った、授業づくりがより一層要求される。</p> <p>不登校特別部会13回実施を踏まえ、来年度も個別の指導計画を作成し続けて欲しい。</p>						
<p>①生活リズム調査結果</p> <p>ア11時までの就寝…70%</p> <p>イ7時までの起床…85%</p> <p>ウ朝食の摂取率…90%</p> <p>エ毎日の排便…70%</p> <p>②保健便りの発行(月1回)</p>	<p>①生活リズム調査結果</p> <p>ア11時までの就寝…70%</p> <p>イ7時までの起床…85%</p> <p>ウ朝食の摂取率…90%</p> <p>エ毎日の排便…70%</p> <p>②保健便りの発行(月1回)</p>			<p>グラウンドでの授業時には600m走り、体育館ではリズムジャンプを取り入れ運動量の確保に努め、運動能力や体力の向上に繋げる。</p>	<p>生徒が少なくなったせいか、グラウンドで見かける生徒が少ない様に見える。休み時間もついでで、体育の授業の工夫と充実と共に、運動部活動に加入していない女生徒への対応が課題である。</p> <p>男女共に、握力以外は全国平均以下は、運動部加入者数が少ないからなのか、運動部と文化部で体力差が出ている。運動能力、運動習慣等結果は全国平均だが、体力が続かない。女子の運動能力向上のための、何か具体的な策を次年度行うべき。</p>				
<p>①津波避難訓練は3回(5月・7月・11月)実施。</p> <p>②地震津波講話・起震車体験・理科(メカニズム等)保健(釜石に学ぶ)家庭科(家庭での防災)体育(救急法)等を実施</p> <p>③学習後のアンケート項目設定ができておらず未検証</p> <p>④保護者質問25項目の肯定的評価83.1%</p>	<p>①津波避難訓練は3回(5月・7月・11月)実施。</p> <p>②地震津波講話・起震車体験・理科(メカニズム等)保健(釜石に学ぶ)家庭科(家庭での防災)体育(救急法)等を実施</p> <p>③学習後のアンケート項目設定ができておらず未検証</p> <p>④保護者質問25項目の肯定的評価83.1%</p>					<p>防災学習と避難訓練の継続実施。</p> <p>マンネリ化しないための情報収集を市の防災課等から行う。学校便りに、子どもと考える防災についての記事や写真を掲載する。防災学習アンケートの項目検討と実施の定着</p>	<p>防災意識が高く、避難訓練も実施されているが、もっと地域の方を巻き込んで訓練してほしい。</p> <p>年間の授業日数、学校にいる時間から考えて、地震が起きたときに学校にいる確立は三分の一以下。学校での防災教育を通して、学校外での災害への対応も皆で考えたい。</p> <p>防災学習、避難訓練などの取組実施は良くできている。しかし、避難場所の備蓄など(水・食料)は、何も未だに準備が進んでいない。</p>		
<p>①学校評価アンケートによる</p> <p>ア学校満足85%以上</p> <p>イ学校は情報提供を積極的にしている70%以上</p> <p>②学校ホームページの抜本的な改訂による、適宜の情報発信</p> <p>③学校支援地域本部の設置検討</p>	<p>①学校評価アンケートによる</p> <p>ア学校満足85%以上</p> <p>イ学校は情報提供を積極的にしている70%以上</p> <p>②学校ホームページの抜本的な改訂による、適宜の情報発信</p> <p>③学校支援地域本部の設置検討</p>	<p>最近、学校が落ち着いたと聞く、学校の全ての取組に保護者も満足度は高いと思う。地域の学校という意識は、保護者・地域とも薄い。色々な行事への参加の呼びかけをする事も大事。</p> <p>参観日や学校行事の案内は、学校・学級・HP等様々な方法で複数回行うことが必要である。</p> <p>校区が広くなり、大変な面もあるが、情報発信と家庭訪問をきめ細かく行うなど、保護者・地域とのつながりを大切にしていきたい。</p> <p>学校便りなど、保護者に届いていない。HPを月1回更新する。入学など新年度にHPのことを保護者に知らせる。学校行事を、ポスターなどを作り地域の方々にも知ってもらおう。参観日の保護者の出席率を上げる(参加の呼びかけをする)</p> <p>小学校の参観週間と中学校の参観週間を合わせてみる。(兄弟のいる保護者が参加しやすい)</p>							
<p>①学校評価アンケートによる</p> <p>ア学校満足85%以上</p> <p>イ学校は情報提供を積極的にしている70%以上</p> <p>②学校ホームページの抜本的な改訂による、適宜の情報発信</p> <p>③学校支援地域本部の設置検討</p>	<p>①学校評価アンケートによる</p> <p>ア学校満足85%以上</p> <p>イ学校は情報提供を積極的にしている70%以上</p> <p>②学校ホームページの抜本的な改訂による、適宜の情報発信</p> <p>③学校支援地域本部の設置検討</p>		<p>①参観日や行事の案内を複数回行うことや、報道にも情報提供を積極的に、学校の具体的な取組の周知を一層図る。</p> <p>②ホームページ管理の技術習得のため、外部の協力を仰ぎ更新の即時性を高める。</p> <p>③引き続き教育委員会と協議する。</p> <p>保護者アンケートの回収率の低さに対応して、日常の学校からの発出文書等を、家庭に確実に届けるため、回収封筒の検討を行う。</p>	<p>最近、学校が落ち着いたと聞く、学校の全ての取組に保護者も満足度は高いと思う。地域の学校という意識は、保護者・地域とも薄い。色々な行事への参加の呼びかけをする事も大事。</p> <p>参観日や学校行事の案内は、学校・学級・HP等様々な方法で複数回行うことが必要である。</p> <p>校区が広くなり、大変な面もあるが、情報発信と家庭訪問をきめ細かく行うなど、保護者・地域とのつながりを大切にしていきたい。</p> <p>学校便りなど、保護者に届いていない。HPを月1回更新する。入学など新年度にHPのことを保護者に知らせる。学校行事を、ポスターなどを作り地域の方々にも知ってもらおう。参観日の保護者の出席率を上げる(参加の呼びかけをする)</p> <p>小学校の参観週間と中学校の参観週間を合わせてみる。(兄弟のいる保護者が参加しやすい)</p>					